

温泉分析書

1. 申請者 住所： 福井県あわら市舟津43-26
氏名： 株式会社 グランディア芳泉 代表 山口 透

環研 第 13H-0000601 号
平成26年 3月12日

2. 源泉名及び湧出地（採水地） 源泉名： 芦原温泉 泉井番号 第51号
湧出地： 福井県あわら市堀江十楽5字16番2
採水地： 同上

3. 湧出地（採水地）における調査及び試験成績
(1) 調査及び試験者： 株式会社 北陸環境科学研究所 笠原 元起
(2) 調査及び試験年月日： 平成26年 2月20日
(3) 泉温： 31.0℃ (調査時における気温： 8℃)
(4) 湧出量： 69 l/min (動力揚湯)
(5) 知覚的試験： 無色澄明、微弱硫化水素臭、無味
(6) pH値： 8.6
(7) Rn値： ——

4. 試験室における試験成績
(1) 試験者： 株式会社 北陸環境科学研究所 佐々木 滋
(2) 分析終了年月日： 平成26年 3月11日
(3) 知覚的試験： 無色澄明、無臭、無味 (採水後 7 時間)
(4) pH値： 8.30 (5) 密度： 0.9989 (20℃/4℃)
(6) 蒸発残留物： 0.752 g/kg (180℃)

5. 試料 1 kg中の成分、分量及び組成
(1) 陽イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル % (mval %)
リチウムイオン (Li ⁺)	0.1	0.01	0.09
ナトリウムイオン (Na ⁺)	233.7	10.17	86.85
カリウムイオン (K ⁺)	10.1	0.26	2.22
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	0.1	0.01	0.09
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	25.3	1.24	10.59
ストロンチウムイオン (Sr ²⁺)	0.7	0.02	0.17
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.1 未満	0.00	0.00
マンガンイオン (Mn ²⁺)	0.1 未満	0.00	0.00
バリウムイオン (Ba ²⁺)	0.1 未満	0.00	0.00
総鉄イオン (Fe ²⁺ Fe ³⁺)	0.1 未満	0.00	0.00
亜鉛イオン (Zn ²⁺)	0.1 未満	0.00	0.00
アンモニウムイオン (NH ₄ ⁺)	0.1 未満	0.00	0.00
陽イオン計	270	11.71	100.0

(2) 陰イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル % (mval %)
フッ素イオン (F ⁻)	6.0	0.32	2.79
塩素イオン (Cl ⁻)	264.6	7.46	65.04
硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	107.1	2.23	19.44
炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	96.7	1.44	12.55
炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	0.1 未満	0.00	0.00
臭素イオン (Br ⁻)	1.0	0.01	0.09
ヨウ素イオン (I ⁻)	0.5	0.00	0.00
チオ硫酸イオン (S ₂ O ₃ ²⁻)	0.1 未満	0.00	0.00
硫化水素イオン (HS ⁻)	0.3	0.01	0.09
水酸化物イオン (OH ⁻)	0.1 未満	0.00	0.00
リン酸水素イオン (HPO ₄ ²⁻)	0.1 未満	0.00	0.00
/			
陰イオン計	476	11.47	100.0

(3) 遊離成分

非解離成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	55.5	0.71
メタホウ酸 (HBO ₂)	8.1	0.18
メタ亜ヒ酸 (HAsO ₂)	0.1 未満	0.00
/		
非解離成分計	63.6	0.89

溶存物質 (ガス性のものを除く)： 0.810 g/kg

溶存ガス成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素 (CO ₂)	0.1 未満	0.00
遊離硫化水素 (H ₂ S)	0.1 未満	0.00
溶存ガス成分計	0.1 未満	0.00

成分総計 0.810 g/kg

(4) その他微量成分

成分	mg/kg
総ヒ素 (T-As)	0.004
総クロム (T-Cr)	0.05 未満
総水銀 (T-Hg)	0.0005 未満
カドミウム (Cd)	0.01 未満
鉛イオン (Pb ²⁺)	0.01 未満
銅イオン (Cu ²⁺)	0.01 未満
水素イオン (H ⁺)	0.01 未満
総硫黄 (S)	0.5 未満

6. 泉質 アルカリ性単純温泉 (低張性アルカリ性低温泉)

7. 禁忌症・適応症は別表による。

所在地
登録分析機関
登録番号
代表者氏名

〒910-0026 福井市光陽4丁目4番27号
株式会社 北陸環境科学研究所
福井県登録番号 第4号
代表取締役 西本 正弘

温泉分析書別表

環研 第 13H-0000601 号

1. 源泉名 芦原温泉 泉井番号 第 51 号
2. 源泉所在地 福井県あわら市堀江十楽 5 字 16 番 2
3. 温泉分析申請者 住所 福井県あわら市舟津 43-26
氏名 株式会社 グランディア芳泉 代表 山口 透
4. 泉質 アルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性低温泉）
5. 療養泉分類の泉質に基づく禁忌症、適応症等は次のとおりである。
 - (1) 浴用の禁忌症
急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（とくに初期と末期）
 - (2) 浴用の適応症
神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進
 - (3) 飲用の禁忌症
特になし
 - (4) 飲用の適応症
特になし
 - (5) 浴用、飲用の一般的注意事項
(浴用上の注意事項)
 - ア 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を 1 日当たり 1 回程度とすること。その後は 1 日当たり 2 回ないし 3 回までとすること。
 - イ 温泉療養のための必要期間は、おおむね 2 ないし 3 週間を相当とすること。
 - ウ 温泉療養開始後おおむね 3 日ないし 1 週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴湯反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。
 - エ 以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。
 - (ア) 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは 3 分ないし 10 分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
 - (イ) 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
 - (ウ) 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない（湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい）。
 - (エ) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
 - (オ) 次の疾患については、原則として高温浴（42℃以上）を禁忌とする。
 - イ、高度の動脈硬化症
 - ロ、高血圧症
 - ハ、心臓病
 - (カ) 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
 - (キ) 食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。
 - (ク) 飲酒しての入浴は特に注意する。
 - (飲用上の注意事項)
 - ア 飲泉療養に際しては、温泉について専門的知識を有する医師の指導を受けることが望ましいこと。
 - イ 温泉飲用の一回の量は一般に 100ml ないし 200ml 程度とし、その 1 日の量はおおむね 200ml ないしは 1000ml までとすること。
 - ウ 強塩泉、酸性泉、含アルミニウム泉及び含鉄泉はその泉質と濃度によって減量し、又は希釈して飲用すること。
 - エ 以上のほか、飲用については次の諸点について注意すること。
 - (ア) 一般には食前 30 分ないし 1 時間がよい。
 - (イ) 含鉄泉、放射能泉及びヒ素又はヨウ素を含有する温泉は食後飲用する。含鉄泉飲用の直後には茶、コーヒーなどを飲まない。
 - (ウ) 夕食後から就寝前の飲用はなるべく避けることが望ましい。

(注) この別表は、温泉法第 18 条による掲示に必要な参考資料となるものである。